

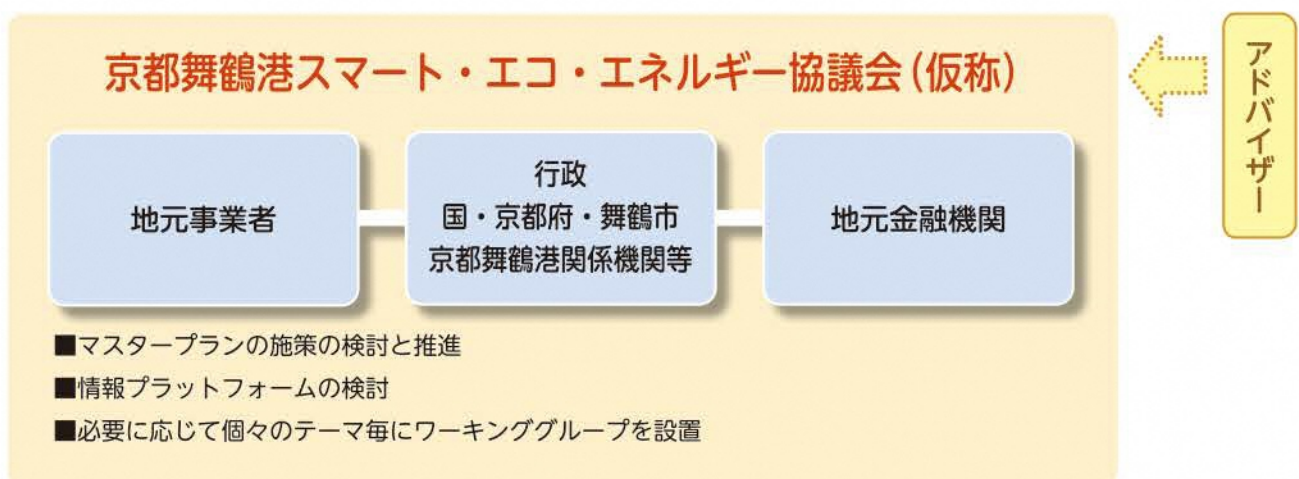


具体的な施策

京都舞鶴港の目指す姿の実現に向けて、施策を効率的・効果的に実施するため、実現可能な施策から順次進めていきます。（短期：3年以内程度、中期：5年程度、長期：10年以上程度）

短期	<ul style="list-style-type: none"> ▶再生可能エネルギー施設・設備の積極導入、バイオマス発電所の立地促進 ▶複合デジタルサイネージ・Wi-Fi環境・スマートライトの整備 ▶舞鶴エリアのエネルギーマネジメントシステムの整備 ▶移動手段の確保・インバウンド対応等の港湾内おもてなし機能の充実 ▶多言語化の推進及び翻訳サービスの導入検討 ▶旅客専用ふ頭の整備の推進 	 <p>デジタルサイネージ</p>
中期	<ul style="list-style-type: none"> ▶データセンターなど特定需要家の立地促進 ▶エネルギーとエリア情報の融合 ▶地域新電力事業の立ち上げ ▶港湾情報の一元管理による物流の高度化 ▶港湾内における自動運転 ▶フィッシャーマンズワーフなどの賑わい施設の誘致 	 <p>自動走行 (提供：輪島商工会議所)</p>
長期	<ul style="list-style-type: none"> ▶エリアデータとエネルギーを活用した地域支援の実現 ▶LNG構想（基地・発電所・パイプライン）の実現 ▶陸電供給システムや省エネ車両等の受入充実、LNGバンカリングの拠点形成 ▶港湾施設・周辺の3Dマップ化 	
情報基盤	<ul style="list-style-type: none"> ▶エネルギー、港湾・物流、おもてなしの各分野のデータ情報の閲覧・利用・加工が可能となる情報プラットフォームの構築 	

推進体制

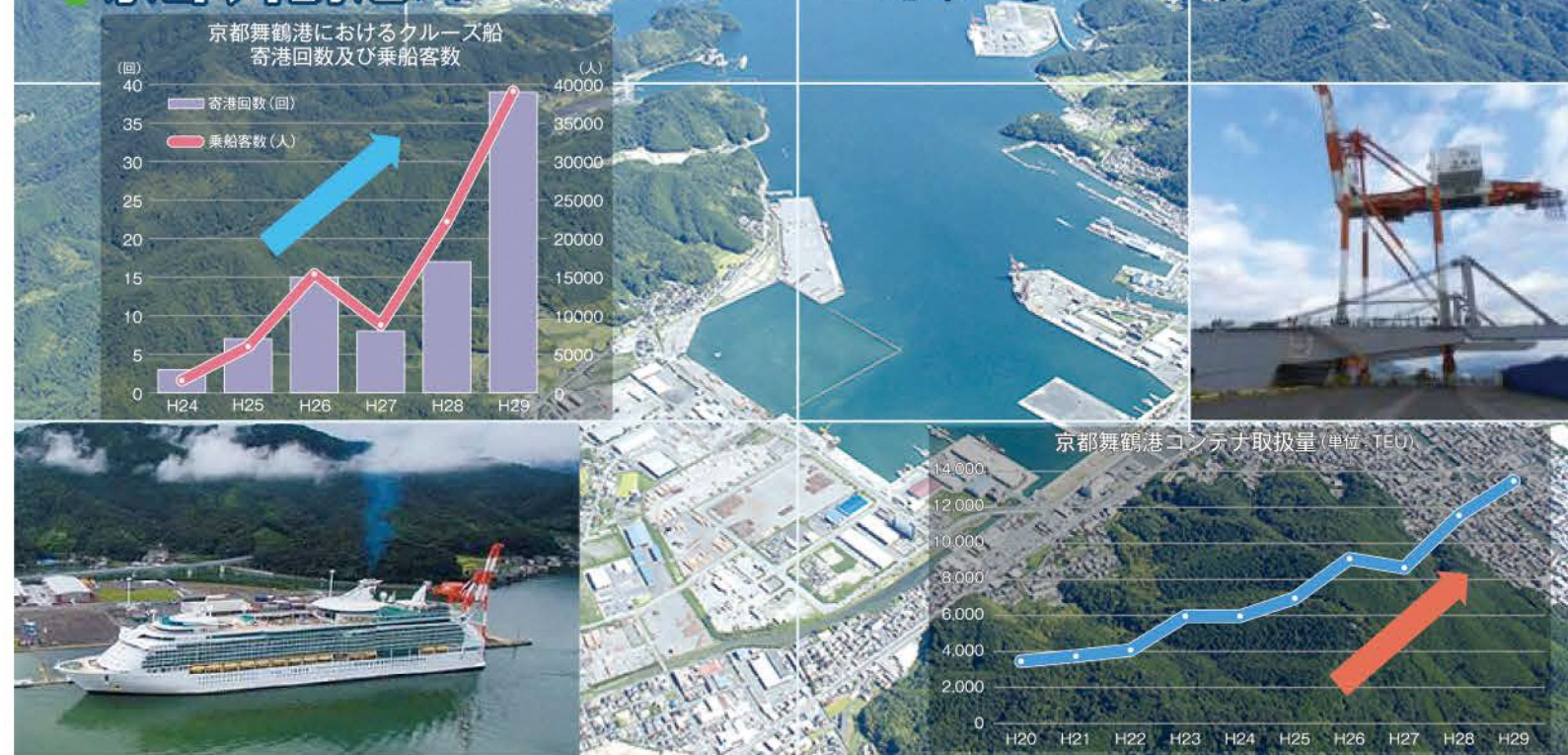


平成30年3月

京都府 環境部 エネルギー政策課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町
TEL.075(414)4298 FAX.075(414)4705

京都舞鶴港の未来を描く 京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン



京都舞鶴港のポテンシャルと課題

	ポテンシャル	課題
エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電などエネルギー供給側の計画が充実 ・港湾があるため燃料の調達が容易 ・LNG基地に適した立地条件が揃っており、関西圏という大きな後背地を有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるエネルギー供給施設の集積 ・再生可能エネルギー利用・熱利用を行う需要家の集積 ・災害対応やセキュリティ管理の充実 ・ガスパイプラインやLNG基地などのエネルギーインフラの整備 ・エネルギー需給の適切な管理
港湾・物流分野	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱貨物量の増加傾向が続き、物流拠点港としての役割 ・ふ頭の機能増強や高速道路網の充実などインフラ整備が進展 ・東アジア中心に定期航路が就航 	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する取扱貨物量に対応できる貨物取扱機能の強化 ・港湾業務の高度化に向けた港湾内オペレーションの機能改善 ・環境負荷低減に向けた取組の強化 ・おもてなし分野の取組との連携・棲み分け ・更なる産業誘致に向けた港湾の魅力創出・ブランド化 ・物流分野の就業環境の改善
おもてなし分野	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船乗客・観光客等の利便性・快適性の向上 ・増加するインバウンド需要に対するおもてなし ・国際フェリーの直行化 ・京都北部地域への周遊観光への誘客推進 ・周辺地域への宿泊施設の誘致 ・京都舞鶴港の賑わい拠点化 ・先端技術等を活用したおもてなし 	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船乗客・観光客等の利便性・快適性の向上 ・増加するインバウンド需要に対するおもてなし ・国際フェリーの直行化 ・京都北部地域への周遊観光への誘客推進 ・周辺地域への宿泊施設の誘致 ・京都舞鶴港の賑わい拠点化 ・先端技術等を活用したおもてなし

